

済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	三重県における乳癌診療の経済毒性に関する前向き他機関観察研究
当院の研究責任者	花村 典子
他の研究機関および各施設の研究責任者	代表研究機関名・研究代表者 三重大学医学部附属病院 河口 浩介 共同研究機関名・研究責任者 三重県立総合医療センター 山下 雅子 済生会松阪総合病院 花村 典子 伊勢赤十字病院 松本 英一 桑名市総合医療センター 小西 尚巳
本研究の目的	三重県における乳癌診療において、経済毒性の実態とその発生要因(地域格差、情報格差、制度利用格差)を明らかにします。さらに、医療政策・診療体制改善につながるエビデンスを創出し、乳癌患者の公平な治療継続と生活の質向上に貢献します。
調査データ 該当期間	2026年4月(許可日)から2026年8月31日
研究の方法 (使用する資料等)	対象は、県内の主要乳癌診療機関に通院中の乳癌患者とし、質問票調査を用いたアンケート調査と診療記録調査によりデータを収集します。本研究では、治療費負担や就労への影響といった経済毒性を COST(Comprehensive Score for Financial Toxicity)日本語版を用いて測定し、それに関する社会的・経済的背景因子・治療関連因子・制度利用状況などを統計学的に分析します。 また、副次的に、医療費節約行動、就労状況の変化、好適支援制度の利用有無によるサイトの関連についても解析を行います。尚、乳癌診療を行っている医師に対してもアンケート調査を行い、データーを収集し、患者側アンケート結果と合わせ、解析を行います。

<p>試料・情報の 他の医療機関への提供</p>	<p>本研究で収集した情報は三重大学医学部附属病院乳腺センターにて保管を継続。保管中の情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究の研究計画書を倫理審査委員会に付議し承認の上、研究機関の長より許可されてから利用します。また、その際はオプトアウトの手続きにより情報公開文書を作成し、研究対象者が研究参加を拒否する機会を保證します。他機関の研究者に既存データを提供する場合は、個人が特定できないようにしたまま提供します。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用する法令、条例を遵守します。データは、氏名を研究対象者識別コードに変更したうえで、個人情報として管理します。</p>
<p>本研究に係る資金 (利益相反)</p>	<p>特になし</p>
<p>お問合せ先</p>	<p>済生会松阪総合病院乳腺センター 花村 典子</p>